



車に証拠は残った

45年間にわたってさまざまな事故を解析し、
真実を追求してきた交通事故鑑定人、駒沢幹也氏。
その事件簿には、保険金詐欺の常習者が、
ついに第三者の命を狙ったケースも収められている。

の替え玉殺人未遂事件

ジャーナリスト 柳原三佳

「交通事故の中には、事故に見せかけた殺人や自殺もよくある。借金の返済に困った人間が、自分に多額な保険をかけてわざと事故を起こしたり、カネを貸しているほうがそれを取り立てるために、本人を事故死に追いやったり……。しかし、仕組まれた事故には、必ずどこかに不自然な点がある。事故車のキズや現場のスリップ痕が、きつと、その瞬間の真実を教えてくれる」

駒沢氏はそう言いながら、ある乗用車の炎上事故について語り始めた。

十二月も終わりに近づいた凍てつくような夜。南アルプスの山奥を走っていた一台の乗用車が、左カーブを曲がり切れず、橋の石柱に激突した。車は炎上。運転者は顔や腹部に火傷を負って、病院に運ばれた。

しばらくして男は、「一緒に車に乗っていた男がいなくなった」と言い出した。

警察が捜索を開始しようとしたとき、事故現場から七・

五^キ離れた山の中を裸足で歩いている不審な男が発見されたという通報が入った。そしてまもなく、その男が行方不明の同乗者であることが判明した。

発見された男は全身から接着剤のような強いにおいをさせ、ブルブル震えながらわけの分らないことを口走っていた。警察官の問いに対しても十分な答えはまったくできない。ようやく聞き取れたのは「俺は殺される」「早く帰りたい」「カネをくれ」といった断片的な言葉だけだった。

事故車の運転手Aは水道工事請負業者、同乗のBは住所不定の日雇い労働者だった。警察の事情聴取に対してAは、この日は仕事の都合でBを連れて帰るため、助手席に乗せていたと語り、事故の状況を次のように説明した。

「急なカーブを曲がるうとしたとき、濃霧のためにハンドル操作を誤ってしまいました。そして、橋の石柱に衝突したのです。衝突の衝撃で後部座席に置いてあった工事用の接着剤が倒れ、私たちは接



焼けた



保険金狙い

着剤を頭からかぶってしまいました。エンジンのあたりから火が出たのはその直後。逃げ遅れた私は、一瞬のうちに全身火だるまになってしまいました、だれかに助けてもらいながら崖下の谷川で体の火を消しました。その間に車は全焼。同乗のBはどこかへ逃げたようです」

警察は支離滅裂なBの言葉に少しは疑いを持ったものの、住所不定のアル中男の言葉よりも運転手Aの言葉を信じ、事故を単なる運転ミスによるものとして処理した。

焼けただけだ事故車の写真を見た。そのすさまじさに、車の炎上事故の頻度について尋ねると、駒沢氏は、「いや、頻繁に起こるものではないね。そもそも自動車火災というのは、エンジンの故障が電気系統の故障によるものが多い。あとはたばこからの引火といったような、車とは直接関係のないところに原

因があるものなんだ」と答えた。

運転手Aは、エンジン部分から出た火が後部座席に置いてあった接着剤に燃え移ったと語った。しかし、事故車の燃え具合を調べてみると、おかしなことが見つかった。火はエンジンがある車の前部から出たはずなのに、後部のほうが燃えているのだ。

見当たらない「出火の原因」

疑問を抱いた保険会社は、駒沢氏に事故鑑定を依頼した。早速、全焼した事故車の検証が行われた。

ウインドーガラスはすべて粉々になり、車内は完全に燃え尽きていた。内装品だけではここまで燃え尽きない。接着剤に引火したことは事実のようだった。車の後部も燃焼

流行

＜創健メ142＞
ファッションや色に流行があるように、食べものにも流行があるのでしようか。ひと頃、エスニック料理、もつ鍋が食の先端を行く勢いでしたが、いま家庭料理が見直されつつあるようです。

暑いときは、冷たいあっさりしたものが好まれます。ところで、とうがらしやこしょう等の香辛料は食欲を刺激するとともに、やせる効果がある大学の研究グループでわかりました。

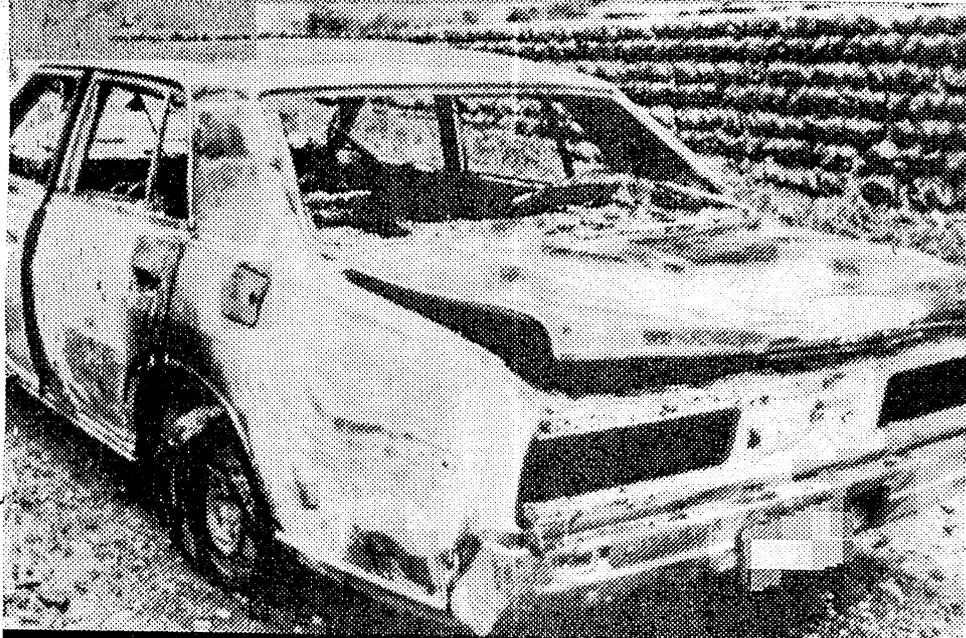
夏バテ防止に、辛いカレーやラーメンを食べて健康的にやせましょう。

医薬品

くま笹原形質液

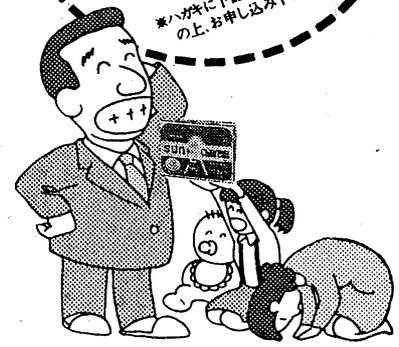
サングロン

疲労回復、体臭、口臭除去、口内炎、歯槽膿漏
製造発売元 詳しい資料進呈
太平生物化学工業株式会社A係
〒176 東京都練馬区豊玉北2-22-9 ☎(3994) 3036



ガラスもボロボロに燃え落ちた事故車。
火の回り方から出火場所は
後部座席のあたりと推定された

サン・クロレラ
をお試しになりたい方へ
資料とお試し品を無料
進呈致します。
※ハガキに下記の要領をご記入
の上、お申し込み下さい。



サン・クロレラAに日健協の「認定マーク」
「財団法人日本健康・栄養食品協会（JHFA）の認定マークは、厚生省指導のもとに設定した品目別規格基準に基づき、協会の厳正な審査をパスした製品に対してのみその使用が許可されたものです」

ハガキ

資料請求をされた方々全員
（1家族1個限りに、「おためし品」
30粒入箱を無料でお送り致します。

〒600 京都市下京区堀川通 花屋町上る 第二サン・クロレラビル 株式会社 サン・クロレラ 週刊朝日 係行	サン・クロレラプレゼント希望 住所（郵便番号） 氏名 年齢 電話番号
---	--

株式会社 サン・クロレラ
本社／〒600 京都市下京区堀川通り花屋町上る
（西本願寺北隣り）TEL.075(361)9603
東京支店：TEL.03(3864)1903

の熱で変色するほど燃えており、後輪は焼けてパンクしていた。

しかし、前輪はパンクもせず残っている。フロントフェンダーの下をのぞくと、まだ塗装が残っていた。これは、漏れたガソリンが地上で燃え上がったことを否定する事実だった。電気系統にもショートした形跡はなかった。結局、車そのものには、出火の原因を見いだすことができなかった。

燃え具合の検証を終えた駒沢氏は、衝突による車体の損傷を調べた。

運転手の証言どおり、「カーブを曲がろうとして、石柱にぶつかった」

「車はハンドルがまっすぐの状態で突っ込んだ。しかも、衝突は一度でなく、二度にわたっていた」

のである。

そのころ、Aからは、「事故のとき負った火傷が原因で視神経に障害が生じ、現在はほとんど両眼とも失明状態だ」

という報告が保険会社に出

されていた。有名な大病院の診断書付きである。

両眼失明といえは、半身不随と同じレベル、一級の後遺障害にあたる。Aが車にかけたいた自動車保険だけでなく、自損事故保険、搭乗者傷害保険などを合わせると、数千万

裏付けられた同乗者の言葉

しかし、警察の回答は、「調べはすでに終わっている。確かに、年末の真夜中に労働者を乗せて山奥を走っていたAの行為は疑わしいかも知れない。しかし、A自身も火傷を負っているし、特に新事実もないのだから……」

円の支払いになる。また、Aは数々の生命保険会社とも契約しており、これらの保険金総額は三億数千万円にもなることが明らかになった。事故車の鑑定結果には不審点がある。保険会社は警察に再捜査を願いだした。

と、再捜査を断るものだった。保険会社はこのとき初めて、Aの車に同乗者がいたことを知った。Aは保険会社に対しては、同乗者の存在を伏せていたのだ。

ある損保会社の損害調査担当者は語る。「意外かもしれませんが、警察と損保会社は遠い存在なんです。警察は民事的な調査に協力する義務がないので、事故の状況は何も教えてくれません。だから保険会社は、疑問点は独自に調べていかなくてはならないんです。こういうことは、よくあります」

警察の再捜査見送りを知ったAは、保険会社を相手に保険金の支払いを求める民事訴訟を起こした。一方、駒沢氏の鑑定で事故の原因に疑いを深めた保険会社は、警察との折衝で初めてその存在を知った同乗者を追いかけた。そして、なかなか話したが

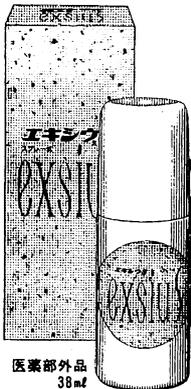
らないBから、事故当日の話をなんとか聞き出したのだ。た。「年末、『カネになる話がある』と誘われ、焼酎をこちそうになった後、Aの車に乗った。パチンコ屋に寄り、どこかの町でサンダルを買い、地下たびを履き替えさせられた。その後ラーメンを食べ、焼酎を飲み、また焼き肉屋に入って焼酎を飲んだ。それから真っ暗な山道に入った。Aは『道を間違えた』と言っては

何度も行ったり来たりしていた。そのうち、車がドカンと衝突し、自分は頭を強打しクワッとした。するとAは車から降りて、自分に運転席へ座るよう命令した。運転はでき

ないところ、『これが薬だ』と言いながらガソリン臭いものを頭からかけられたので、怖くなって逃げた。橋を渡ったところでまた薬をかけられたが、サンダルを脱ぎ捨て、裸足のまま逃げた」

事故現場に至るまでのBの話は、第三者の証言で裏付けられた。現場近くの草むらからは、Bが脱ぎ捨てた真新しいサンダルも発見された。駒沢氏は語る。「そう、Aは自分自身に多額の保険をかけたうえで交通事故を起こし、住所不定の労働者Bを、自分の身代わりに焼死させようとしたんだ。ところが、Bは逃げてしまった。計画がバレるのを恐れたA

ニオイって見えないから……



ワキガ 体臭の予防 足のクサミ止め

薬局・薬店でお求めください。

医薬部外品 38ml

ついおろそかになりがちな体臭管理。スプレー式エキシウスにお任せください。汗をかいても義理をかかない心がけ。さっぱりタイプで好評の特製エキシウスクリームもよろしく。

エキシウス

東京都千代田区岩本町3-10-9 株式会社 東京甲子社

ご使用の際は「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください。

鈴虫

【すずむし】

体全体が暗褐色、または黒褐色に覆われ、白く長い触角が特徴的である。
七月頃から姿を見せ始め、羽根を擦り合わせ「リン・リン」と鳴く。夜長に響く鈴虫の鳴き声は、行く夏を惜しむかのようである。

鈴虫の声ふりこぼせ草の闇

亜柳

創業寛永七年

千鳥屋



●ご用命は電話でも承ります。3,000円より発送いたします。
●お問い合わせは、フリーダイヤル0120-192193へ。

福岡／福岡市中央区天神2-6-29 ☎092(761)1727
飯塚／飯塚市本町4番21号 ☎0948(22)1938
東京／東京都豊島区駒込3-3-19 ☎03(3915)0865
大阪／尼崎市塚口1-22-9 ☎06(422)6249

は、とりあえず交通事故に見

せかけようと車に放火。自分

にも接着剤がついていたた

め、火傷を負ってしまったよ

うだ。事故は、替え玉殺人未

遂事件だった可能性が高い」

その後、民事裁判では現場

検証や地元関係者の証人尋問

が行われた。そして、いよいよ

大詰めの本尋問というとき、

原告のAは事情変更による

本人尋問の延期を申し立て

た。しかし、その時点で事件

の構造を見抜いていた裁判官

は、Aに保険金請求権の取り

下げを勧告、判決を待たずに

裁判は終わった。

「それにしても、自分が失明

までしてしまうなんて、なん

だか哀れですね……」
私がそうつぶやくと、駒沢
氏は笑いだした。

「失明」した男が免許を更新

「Aは失明なんかしていないか

ったんだよ。偶然に負った火

傷を利用して、失明を装った

だけなんだ。診断書が出され

た後、自転車に乗る姿を目撃

されている。それだけじゃな

い、訴訟中に免許証の更新ま

でしていたんだ。まったく間

抜けな話だよ。せめて保険金

が手に入るまで、おとなしく

していればいいものを」

警察は「民事不介入」とい

う言葉をよく使うが、交通事

故の場合は、現場に駆けつけ

た警察官の処理が、後々の民

事問題を左右することが多

い。

この「替え玉殺人未遂事

件」も、保険会社が鑑定を依

頼しなければ、警察の調書通

り、ごく普通の単独事故とし

て三億円あまりの保険金が各

社から支払われていたはず

だ。

それだけではない。Aは味

をしめてさらに大胆な計画を

練ったかもしれない。実際に

Aは、この事件を起こす前、

同じ車で二回の火災事故を起

こし、車両保険金を受け取っ

ていたのである。

このような、交通事故とい

う仮面をかぶった犯罪は、刑

事事件として扱われにくく、

中にはかなり悪質なものが潜

んでいる。たとえ実態は殺人

事件でも、警察が単なる事故

として処理し、刑事でも不起

訴となれば、捜査のやり直し

はまず行われない。

それだけに、現場へ一番に

駆けつける警察官は責任重大

だ。高齢のため現役を引退し

た「交通事故ホームズ」駒沢

幹也氏が、

「警察はもっと真剣に、『交

通事故のキズを読むプロ』を

育ててほしい」

と、望み続ける理由であ

る。(おわり)